



オクラ（野菜）の花  
撮影場所：  
広報センター横

## 9月の特許相談会

※今月は鳥取地区で2回開催されます。相談をご希望の方は予約をお願いします。

### 【鳥取地区1】

相談員：富田憲史弁理士  
(医獣・バイオ関係他)

日時：9月9日(木) 13:30より  
場所：鳥取大学産学・地域連携機構2階会議室

### 【鳥取地区2】

相談員：滝本智之弁理士  
(電機・機械関係他)

日時：9月10日(金) 13:30より  
場所：鳥取大学産学・地域連携機構2階会議室

<お知らせ> 10月相談会予定 富田弁理士 10/12(火/米子地区) 滝本弁理士 10/15(金)  
11月相談会予定 富田弁理士 11/15(月) 滝本弁理士 11/16(火)

### 【目次】

9月の特許相談会	1
企業紹介 シリーズ第5回 一(株)シャルビーン	2
山陰発技術シーズ発表会 in とっとり	3
イノベーションジャパン 2010 -大学見本市-	4
山陰(鳥取・島根)発新技術説明会報告	5
CIC 東京新技術説明会報告	5
Q&A「商標」～最近の動きを踏まえて～	6～8

## 企業紹介 シリーズ第5回 一(株) シャルビー 一

株式会社シャルビー  
取締役 工藤陽平

株式会社シャルビーは鳥取県発（初）の化粧品メーカーとして、自社オリジナルの化粧品をスキンケア・ヘアケア・メイクアップの約40品目をお届けしています。また鳥取・倉吉の直営サロンではエステティックサービスも行っており、専門スタッフがお客様のスキンケアサポートを行っています。



(株)シャルビー（鳥取市南安長）

当社は20年前に化粧品販売店として創業しました。「問診・視診・触診」を通してお客様の肌と直接向き合い、それぞれの肌質に合ったお手入れ方法のご提案をし、創業以来、数千人のお客様のスキンケアのお手伝いをしてきました。その経験を化粧品開発に活かし、素肌にやさしい素材にこだわった製品開発を行っています。

2009年の9月に鳥取大学農学部南三郎教授よりNアセチルグルコサミンをご紹介いただき、新たに鳥取県産の化粧品原料を使った「りとっとのたからもの ほほうるる」を開発・発売いたしました。

「りとっとのたからもの ほほうるる」は鳥取県境港で水揚げされたカニ殻由来のNアセチルグルコサミンの他に、サカナウロコから採れるフィッシュコラーゲン、鳥取県中部で採水された天然還元水「白山命水」を配合した、これまでにない「地産地消」の化粧品としてたくさんの方に愛用して頂いています。



シャルビーでは今後5年間で全ての化粧品原料を鳥取県産に切り替えることを目標としています。化粧品への安全性の要求は食品同様に日々高まってきています。化粧品原料の地産地消、原料・生産者の見える化を通して、家族全員が安心して使える化粧品をつくり続けていきたいと考えています。



### 【補足】

「ほほうるる」は、2009年に産学官連携による共同開発で商品化した製品です。活用した研究成果は今年特許登録しました。

発明者：農学部 南三郎教授、同 岡本芳晴教授

発明の名称：「創傷の治療又は処置のための薬剤」

特許登録番号：第4496375号（PCT 経由日本特許登録日 2010/04/23）

知的財産管理運用部門では毎年積極的にマッチングイベント等に出展し、研究成果の活用を推進しています。

右の写真は、昨年の農林水産省主催「アグリビジネス創出フェア2009」の様子です。



当部門はこのフェアで、農学部の研究成果として、特許出願しその技術を活用した商品の展示とその内容紹介を紹介しました。

（「ほほうるる」の展示コーナー→）



# 山陰発技術シーズ発表会inとっとり

山陰地域における産学官のさらなる連携推進を図るため、各研究機関の最新の研究成果、地元との連携を意識した技術シーズを発表いたします。新技術導入や新商品開発にご関心のある方、産学連携のコーディネートに関わる方のご来場をお待ちしています。

**日時**：平成22年9月3日（金）13：00～17：00

**場所**：米子コンベンションセンター1階 情報プラザ（米子市末広町）

（「とっとり産業フェスティバル2010 & 鳥取環境ビジネス交流会2010（9/3・4開催）」  
〈研究発表の部〉として開催）

**参加料**：無料

**主催**：とっとり産業フェスティバル2010実行委員会、中国地域産学官連携コンソーシアム

【プログラム】（鳥取大学のみ抜粋）

分野	時間	発表シーズ	発表者
バイオ・食品	13:35 ～ 13:50	短稈コシヒカリの開発法	農学部 生物資源環境学科 准教授 富田 因則
	13:50 ～ 14:05	アミノペプチダーゼを用いた多様なジペプチドの生産法	農学部 生物資源環境学科 講師 有馬 二郎
環境・エネルギー	14:45 ～ 15:00	環境負荷低減をかなえる水溶性加工油剤のメンテナンス・リサイクル技術	大学院工学研究科 機械宇宙工学専攻 准教授 近藤 康雄
IT・電気電子	15:15 ～ 15:30	有機-無機ハイブリッド型紫外高感度光検出器の開発	大学院工学研究科 情報エレクトロニクス専攻 准教授 阿部 友紀
	16:25 ～ 16:40	中国地域産学官連携コンソーシアム（さんさんコンソ）の紹介	産学・地域連携推進機構知的財産運用部門 産学官連携プロデューサー 加藤 優

なお、Word形式の表紙1ページと当日説明のPowerPointの資料を冊子印刷しましたので、希望される方は下記連絡先、あるいは当部門（電話0857-31-6000）にお問い合わせください。

〈連絡先〉

鳥取大学 産学・地域連携推進機構 知的財産運用部門  
中国地域産学官連携コンソーシアム（さんさんコンソ）  
産学官連携プロデューサー 加藤 優  
電話：0857(31)5703 FAX：0857(31)5474  
Eメール：chizai@adm.tottori-u.ac.jp

チラシ掲載 URL のお知らせ

★とっとり産業フェスティバル2010 & 鳥取環境ビジネス交流会2010

…<http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp/fes2010/>

★山陰発技術シーズ発表会inとっとり

…<http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp/fes2010/prent3.html>

**山陰発技術シーズ発表会inとっとり**  
San-In Technology Seeds Presentation Meetings in Tottori

山陰地域の大学・高校・研究機関における最新の研究成果を広く知ってもらうため、これら技術シーズが活用可能な産学官連携推進機構と連携して開催する「山陰発技術シーズ発表会inとっとり」を開催いたします。

ここでは、地元産業者との連携を促進した最新の研究成果、産学官連携推進機構が提供する最新の技術導入や新商品開発に際した最新の産学官連携のコーディネートに関わる方、ぜひご来場ください。

**日時** 平成22年9月3日（金）  
13時00分～17時00分

**場所** 米子コンベンションセンター  
1階情報プラザ（とっとり産業フェスティバル 9/3・4）内

参加料 無料

主催 とっとり産業フェスティバル2010実行委員会、中国地域産学官連携コンソーシアム

# イノベーションジャパン2010-大学見本市-

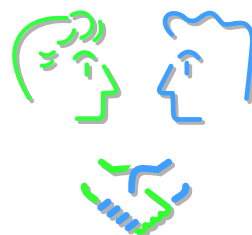
昨年度の期間中来場者数 41,321 人（主催者発表）であり、国内最大規模の産学マッチングイベントとして毎年開催されるイノベーションジャパンが、今年も以下のとおり開催されます。

★開催日時： 9月29日（水）13:00～17:30

9月30日（木）10:00～17:30

10月1日（金）10:00～17:00

★発表場所：東京国際フォーラム（東京、有楽町）



鳥取大学は次の2シーズを発表・展示します。

詳細はイノベーションジャパン2010-大学見本市HP(\*1)をご覧ください。

発表日時／場所	分野	題名／発表者
<p><b>新技術説明会</b> 9月29日（水） 13:30～13:50 プレゼンテーション 番号：PN-13 場所：G会場</p> <p><b>展示会（期間中）</b> 小間番号 N-23</p>	<p><b>ナノテクノロジー</b></p>	<p><b>題名「有機-無機ハイブリッド青-紫外線光検出器の開発」</b> 発表者：工学研究科 化学・生物応用工学専攻 准教授 阿部友紀</p> <p>【技術の概要】 近年、次世代光ディスク、火炎センサー、医療用PETなど紫外線の検出に注目が集まっている。特に医療用に必要な微弱光の検出に用いる光電子増倍管を、全固体素子であるAPDに置き換えることができれば、集積化も可能となるが、紫外線波長域専用のAPDは実用化されていない。本研究では、紫外透明有機導電膜を窓層とした有機-無機(PEDOT-ZnSSe)ハイブリッド型光検出器を開発し、外部量子効率70～90%、最大増倍率600を実現した。</p>
<p><b>展示会（期間中）</b> 小間番号 W-67</p>	<p><b>医療・健康</b></p>	<p><b>題名「褐藻由来フコイダンのアンチエイジング効果の証明と機能性食品への応用」</b> 発表者：農学部 教授 南三郎</p> <p>【技術の概要】 フコイダンには抗腫瘍効果などの生体活性効果は知られているものの、損傷軟骨再生効果については未知であった。この効果をフコイダンの分子量との関係から明らかにし、また、経口投与後の血漿サイトカイン濃度の測定から腸管粘膜を介した免疫活性効果を明らかにした。関節軟骨の加齢による消耗のブロックは長寿国家である日本では重要な課題であり、世界的にも変形性膝関節症の予防治療を目的とした物質となると期待している。</p>

(\*1) HP...<http://expo.nikkeibp.co.jp/innovation/2010/>

# 山陰（鳥取・島根）発 新技術説明会

報告

鳥取・島根両県の大学・公設試発のライセンス可能な特許を発表した新技術説明会を7月16日（金）に科学技術振興機構 JST ホールで開催しました。

新技術説明会の詳細は知財部門ニュース7月号（40号）を参照。

## 発表者（鳥取大学4件のみ抜粋）と来場者数（定員50名）

発表時間	分野	題名	発表者（所属・氏名・職名）	来場者
14:20~14:50	食品	アミノ酸誘導体を用いた多様なジペプチドの生産法	農学部 生物資源環境学科 講師 有馬二郎	45
15:00~15:30	医療・健康	脳神経変性病に関わるタンパク質の形の変化の解明とその原理を応用に向け	工学研究科 化学・生物応用工学専攻 教授 河田康志	47
15:30~16:00	医療・健康	肝臓癌の新規治療標的の同定	医学系研究科 遺伝子医療学部門 教授 汐田剛史	45
16:00~16:30	医療・健康	新しい自己免疫性甲状腺疾患の診断マーカー：抗ペンドリン抗体	医学系研究科 機能再生医科学 特任教授 吉田明雄	45

発表後の個別相談会では、①関連する業務の参考のため、②技術指導を希望、③共同研究を希望、など様々な目的を持つ来場者と面談した。発表者本人からも参加してよかったという感想も聞かれ、有意義な新技術説明会となりました。

# キャンパス・イノベーションセンター東京 新技術説明会

報告

キャンパス・イノベーションセンター（CIC/東京）にオフィスを構える大学が主催する「CIC東京新技術説明会」が7月30日（金）に開催されました。

新技術説明会の詳細は知財部門ニュース7月号（40号）を参照。

鳥取大学では2件のシーズを発表し、それぞれの聴講数が30名を超えました。発表後の企業からの個別相談もあり、今後共同研究等へ繋がるのが期待されます。



発表タイトル「高次元空間を用いた新しい生体信号表示法」  
医学部 鱒岡直人教授



発表タイトル「逆解析による耕作機械の熱源熱量推定法」  
工学研究科 上原一剛助教

## Q & A

# 商 標 ～最近の動きを踏まえて～

商標については、『Q & A : 商標』と題して2007年6月1日発行の「知財部門ニュース」に掲載しました。掲載した理由は、鳥取大学として初めての商標である『人間力はどうだ!』が登録されたことがキッカケでした。

それで今回は、商標に関するその後の経緯や新しいマークの登録状況について、以下に紹介したいと思います。

**Q 1 : 約3年前に鳥取大学が『人間力はどうだ!』の商標登録がされた後の経緯について教えてくださいませんか?**

A 1 : 本学では、『人間力はどうだ!』に引き続き、鳥取大学シンボルマークおよびイメージキャラクターについて全国公募を行い、それぞれの候補を決定し、類似調査とともに商標登録の手続きを行いました。その結果、大学の教職員の皆さんが良くご存じの「鳥取大学シンボルマーク」と「鳥取大学キャラクター（とりりん）」を2008年6月に出願し、同月無事に商標登録を受けることができました。

ところで、出願するときに指定する商品やサービスを記載する必要があります。今回、出願・登録しました指定区分は、商品と役務の両方を対象に、「鳥取大学シンボルマーク」「イメージキャラクター（とりりん）」ともに第16類（文房具類、印刷物）、第25類（被服、仮装用衣類）の2種類です。

鳥取大学シンボルマーク



鳥取大学イメージキャラクター（とりりん）



**Q 2 : なるほど、また新たな「鳥取大学の商標」が誕生したわけですね。このように新しい商標が出現した訳ですから、そのためのルールづくりも進みましたか？**

A 2 : そうですね。今後も鳥取大学全体あるいは各部局での商標を生み出す可能性が広がる機運となりましたので、2008年2月から「鳥取大学商標取引規則（案）」を産学・地域連携推進機構で練り始めました。そして、2008年5月に『鳥取大学商標取扱規程』が制定されました。

**Q 3 : その『鳥取大学商標取扱規程』とはどのようなものを教えて下さい。**

A 3 : この規程は、本学の知的財産方針に基づき、鳥取大学における商標の取扱いを定めた内容になっています。

概要としては、

(1) 本学における

①登録商標の使用や使用許諾に関する内容、

②商標やそれに基づく商標権の諸手続きと管理決定の手続き等について、本学のどの機関が実施するのか、

(2) 商標の登録出願及び商標権の存続期間の更新登録申請のどのような手順で実施するのか、

(3) 新規登録された商標権あるいは更新登録された商標権を学内にどのように周知するのか、

(4) 登録商標を本学の教職員や学生が使用する場合に、どのような手続きをすれば良いのか、

(5) 登録商標を学外の人が使用したいとの申し入れがあれば、どのような手続きによって使用許諾を与えたら良いのか

等々が具体的に規定されています。

**Q 4 : 本学が『鳥取大学商標取扱規程』を作成した意図は何ですか？**

A 4 : 原則として、登録された商標を管理する部門は勿論のこと、登録された商標を使用する本学の教職員及び学生が、本学の名誉や品位、そして社会的信頼性の維持・向上を図ることが根底にあります。また、逆に本学の教職員及び学生が他機関（他人）の登録した商標を原則使用しないこと、あるいはどうしても使用する必要が発生したならば、商標権利者と使用条件等を協議し、使用許諾を受ける等、商標に係わる意識や知識を向上させる意味合いもあると思います。

**Q 5 : 確かに、この頃、商標に関するトラブルがテレビ・新聞等で報道されているのを見かけますね。例えば、本学の商標が無断で使用される場合も考えられますが、このような場合、商標に係わる法的な保護はあるのですか？**

A 5. 権利侵害についての法的な保護として、特許等の他の知的財産権と同様な救済規定がありません。具体的には、

- i) 差止請求権（商標法第36条）、
  - ii) i) の請求に際して侵害物の廃棄請求権、
  - iii) 信用回復措置請求権（商標法第39条）、
- 民法による損害賠償あるいは不当利益返還請求権、  
を請求することができます。

**Q 6. 商標は不正競争防止法でも保護されると聞いたことがあります、本当ですか？**

A 6. そうですね。商標が不正競争防止法によっても保護されることは本当です。即ち、人の業務に係わる氏名、商号、商標、表彰、商品の容器あるいは包装、その他の商品または営業を表示するものは『商品等表示』と呼ばれ、著名な商品等表示を、不正競争防止法では保護しています。この不正競争防止法の保護を受けるには、特に特許庁への登録も必要ありません。なお、この不正競争防止法については、またいつか詳しく説明する予定です。

**Q 7. それでは、何も商標法での保護は必要ないかと思いますが・・・**

A 7. いいえ、やはり不正競争防止法に限らず、商標法での保護も大いに利用すべきと考えます。何故なら、商標法での保護を受けるためには、当該商標が有名であることが必須の要件になり、その著名であることを裁判で立証しなければなりません。この立証をするためには、長い時間と費用が掛かります。

しかしながら、商標法では、i) 当該商品が有名である必要がないことで、ii) 出願・登録には費用が掛かるが、（不正競争防止法に比べて）比較的簡単に登録されるメリットがあります。換言すれば、不正競争防止法による訴訟費用に比べ出願・登録費用が圧倒的に安いので、先行投資の意味で初めに当該商標を出願・登録しておく方が、結果的に有利ではないかと思います。

結論として、商標を戦略的かつ効果的に活用するためには、不正競争防止法による保護に頼らずに、商標法による保護を推進して方向が良いと判断します。

\*\*\* 刊行物 \*\*\*

知財部門ニュース 9月号  
<42号> (通番70号、  
2010年9月1日発行)

編集・著作：  
知的財産管理運用部門

\*\*\* 編集後記 \*\*\*

オクラの花（表紙写真）って初めて見ました。薄い黄色がきれいですね。今年は太陽の光がきびしいので葉影もくっきりと色濃く写ります。  
まだまだ残暑は続きそう、さわやかな秋風が早く吹かないかなあ～。

\*\*\* 特許相談 \*\*\*

相談員：佐々木茂雄（部門長・教授） TEL：0857-31-6000（直通）（内線2765）  
山岸 大輔（副部門長・助教） TEL：0857-31-6094（直通）（内線4072）  
場 所：産学・地域連携推進機構2F 知的財産管理運用部門  
FAX：0857-31-5474（専用）（内線2771）  
産学・地域連携推進機構 HP：URL/ <http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp/>